

令和7年度 進路だより

わくわくワーク 第3号

令和7年10月24日
富山県立しらとり支援学校
進路支援部

秋が深まり、木々の葉も色付いてきました。7月から9月に行われた本校の進路支援に関する活動についてお知らせします。今回は事業所や行政、先輩と多くの方に来校していただき、卒業までの準備や卒業後の生活について話を聞く行事がありました。



「高等部進路学習会」＜7月22日（火）開催＞

高等部3年生の保護者を対象にした進路学習会を行いました。当日は、富山市福祉保健部障害福祉課担当者から、「障害福祉サービスについて」「卒業後に利用できるサービス」「障害福祉サービスを受けるまで」「障害基礎年金について」「成年後見制度について」という内容で、分かりやすく説明していただきました。

質疑応答では、障害支援区分の認定や障害基礎年金の受給に向けてしておくことなどが話題に挙がり、担当者からはこれらの申請には医師の意見書が必要になること、手続きには時間が掛かるので余裕をもって進めてほしいことなど詳しく話を伺うことができました。保護者からは「これからすべきことが見えてきてよかった」との感想をいただきました。

「障害福祉サービス事業所合同説明会」＜7月25日（金）開催＞

児童生徒の卒業後の生活について理解し、進路選択の一助となるように「障害福祉サービス事業所合同説明会」を実施しました。当日は、約40の障害福祉サービス事業所の参加があり、保護者や教員が各事業所のブースを回る形で事業所の担当者から事業所の様子や仕事内容を個別に詳しく聞くことができました。

事後アンケートでは、事業所の担当者から「保護者の皆様から直接思いや要望を聞くことができ、今後の施設運営にとっても大変参考になった」や、保護者からは「ホームページで検索しただけでは分からないことを実際に聞くことができたのがよかった」などの感想を多くいただきました。



「先輩こんにちは」(9月25日(木)開催)

就労継続支援 A 型事業所、就労継続支援 B 型事業所、生活介護事業所で働いている卒業生が来校し、仕事の様子や卒業後の生活についての話を聞いたり、事前に取材した内容をスライドで見たりしました。

参加した生徒たちは、今後の進路や卒業後の生活の参考にしようと真剣に話を聞いたり、積極的に質問をしたりし、有意義な時間を過ごすことができました。



先輩方の仕事を紹介します



＜令和4年度卒業生＞

〔勤務先〕 一般社団法人 新草会 セリュー

(就労継続支援 A 型事業所)

パソコンのデータ入力や書類をファイルにとじる仕事をされています。締め切りまでに仕事が終わるようにがんばっているとのこと。



＜令和5年度卒業生＞

〔勤務先〕 社会福祉法人 けやき苑 JOB にながわ

(就労継続支援 B 型事業所)

福祉プラザの中の清掃作業やシール数え、割り箸の袋詰め作業をしています。丁寧に作業することや集中して作業することを心掛けておられるとのこと。



＜令和4年度卒業生＞

〔勤務先〕 社会福祉法人 射水福祉会 いみず苑ひだまり

(生活介護事業所)

リテーナの整理や体育館でのウォーキング、掃除などをされています。レクリエーションでは、ストラックアウトやボウリングを楽しんでおられるとのこと。

仕事を継続するために大切なことを聞きました

＜先輩の話より＞

- ・報告・連絡・相談をすること。
- ・作業学習をがんばること。
- ・好きなことやもの、人をたくさん見つけること。

＜勤務先の方より＞

- ・お客様のことを考えながら仕事をする。
- ・一緒に作業をしている人のことを考えること。報告・連絡・相談を忘れずに行うこと。
- ・好きなことや楽しいことをたくさん見つけ、休憩時間に一人で過ごせること。

今回、先輩や勤務先の方から教えていただいた働くために必要な力や卒業後の生活で大切なことを身に付けられるよう、学校と家庭とが連携して取り組んでいきましょう。